

令和2年度花壇管理

西内良・信太千帆・高山信明
・島田有紀子

花壇の管理状況

季節ごとの作業概要を記録する。また、植栽に使用した植物は表1に示した通りである。

なお、森のレストラン前花壇についてはリニューアルを行ったため、別稿「森のレストラン前花壇のリニューアルについて」にて述べる。

冬季（1月～3月、平成31年度業務委託分）

1月は業務委託を行っていないため、すべての花壇で除草・花がら取りを直営で1回ずつ行った。2月は委託による除草・花がら取りを1回、3月には委託による除草・花がら取りと直営による花がら取りを1回ずつ行った。

春季（以後、令和2年度業務委託分）

今年度は「ひろしま はなのわ 2020」スポットイベントとして、正面入り口から大階段にかけての空間で広島に本拠地をおく球団である、広島東洋カープのイメージカラーを連想させる赤い花を用いて、広島らしさを感じさせる演出を行った。そのため、大花壇、中花壇、小花壇、カスケード前花壇、カスケード池下花壇において、植栽図および品目の変更を行った。

カスケード前花壇はベゴニアを植栽した際に灰色かび病が頻繁に発生すること、また、降雨時の土の跳ね返りが強い花壇であることから、これまでのベゴニア・センパフローレンスをベゴニア‘F1 トップハット’に変更した。観察した結果として、後者のほうが耐病性は強いが、白花は僅かながら枯死するものが出た。この品種は耐病性についてベゴニア‘ビッグ・デラックス’に劣るものの、20cm間隔で植え付けて2か月半観賞できる品種として差別化がされており、次年度も使用する。イメージ図の再現や花材自体の維持管理は、植え付け初期に水切れをさせてしまったインパチェンス（池下花壇に使用）を除き概ね良好であった（写真1）。なお、インパチェンスの水切れは生産者の栽培圃場と比較して当園の環境が乾燥していたことが要因と推察される。

夏季（7月～9月中旬）

大花壇、中花壇、カスケード前花壇において、長期雨天時の耐病性、土跳ねへの耐性、そして豪雨の物理的衝撃に対する耐性を求めた品目変更を行った。ペンタス‘グラフィティー・リップスティック’、‘グラフィティー・ピンク’はこれまでも使用しており、その性質の強さを再確認することになったが、同シリーズの新品色である‘グラフィティー・ラベンダー’および‘グラフィティー・ホワイト’は耐病性が劣る印象を受けた。特に‘グラフィティー・ホワイト’については、7月を通して続いた豪雨の雨滴の物理的衝撃およびそれに伴う土跳ねにより、葉が激しく傷んだ。また、土壌も過湿となり立ち枯れ病が発生した。しかしながら、雨天が続き、殺菌剤を散布できたのは8月上旬であった（写真2）。

カスケード前花壇にはクロサンドラも用いたのだが、枯死こそしなかったものの、7月の豪雨の被害は著しく、8月中旬ごろになってやっと次の花を見ることができた。次年度カスケード前花壇に用いる品目については、豪雨に耐えるものを検討中である。なお、中花壇に新たに用いたトウガラシ‘クバーナ’および‘パープルフラッシュ’は、終始見頃と呼べる状態で、乾燥にも強かった。

秋季（9月中旬～11月上旬）

秋季花壇では、カスケード前花壇について、春に引き続き「ひろしま はなのわ 2020」スポットイベントとして、広島のサッカークラブ、サンフレッチェ広島をイメージさせるデザインとした（写真3）。同花壇は前年のこの時期に花苗が肥料焼けを起こしていたため、今年度は植え付け後施肥を行わずに10日程度観察し、その後化成肥料（N:P:K=7:14:7）を30g/m²施肥した。その後の生育・開花等に支障はなく、特に病害虫の被害もないまま展示を続けることができた。

大温室横花壇は、アンゲロニア‘セレナ’の見頃が当初の予定より1ヵ月早い10月上旬で終わりとなり、以降の約3週間は老化した状態となった。この品目は7月中旬に植栽し、同月下旬に施肥を行った。9月上旬に草丈が想定より高くなっていたため灌水を抑え気味の管理とし、追肥は行わなかった。その後、9月下旬に生育に衰えが出始めたため、追肥を行った。しかしながら、10月上旬から株の老化が進行した。この品目は花期が長いですが、7月定植で11月上旬まで見頃をキープするのは難しいと感じた。次年

度は植え替えを早めることとしたい。

冬季（11月上旬～12月）

11月上旬に花壇の植栽変更を行った。今年度は、パンジーについては‘よく咲くスマイル’シリーズに統一している。これまでメインで使用していたパンジー‘マリボサ’シリーズに比べてやや花径は小さいものの、連続開花性が高く、12月末現在、鮮やかな花壇を演出できている。

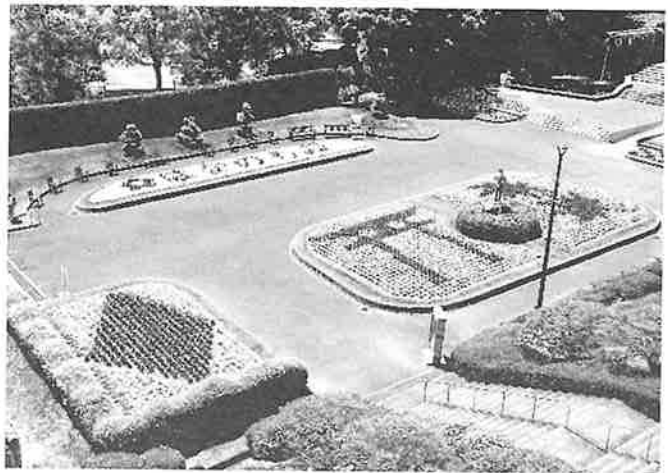


写真1 春花壇（スポットイベント時）



写真2 枯死寸前となったペンタス
土跳ねや豪雨の物理的衝撃で下葉が傷み、
立ち枯れ病の被害も出ている（8月3日）

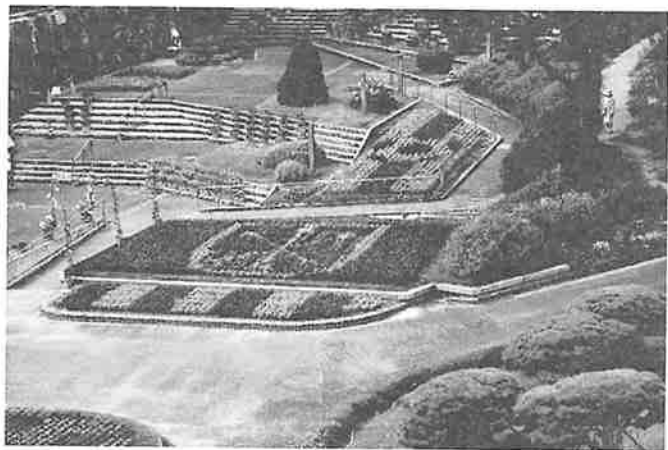


写真3 秋花壇（スポットイベント時）

表1 各花壇の植栽植物

	春季	夏季	秋季	冬季
大花壇	ベゴニア‘ビッグ・デラックス’ 銅葉・赤花 ベゴニア‘F1 トップハット ホワイト’	ペンタス‘グラフィティ・リップスティック’ ペンタス‘グラフィティ・ピンク’	アルテルナンテラ・フィコイデア 赤 アルテルナンテラ・フィコイデア 橙 アルテルナンテラ・フィコイデア 黄	パンジー‘よく咲くスマイル ミルクセーキ’ パンジー‘よく咲くスマイル ラベンダーソフト’ ハボタン‘F1改良紅はど’（2月にアイスランドポピー） ハボタン‘F1白はど’（2月にアイスランドポピー）
中花壇	ベゴニア‘ビッグ・デラックス’ 緑葉・赤花 ペチュニア‘スーパー・チュニアピスタ・シルバークラウン’	トウガラシ‘クバーナ’ トウガラシ‘パープルフラッシュ’	アルテルナンテラ・フィコイデア 赤 アルテルナンテラ・フィコイデア 橙 アルテルナンテラ・フィコイデア 黄	よく咲くスマイル‘ブルー’ よく咲くスマイル‘ミルクセーキ’ よく咲くスマイル‘ソーダ’ よく咲くスマイル‘ライチ’
小花壇	ケイトウ‘チャイナタウン’ ロブラリア‘スーパー・アリッサム スノープリンセス’	ペンタス‘グラフィティ・ホワイト’ ペンタス‘グラフィティ・ラベンダー’	ペンタス‘グラフィティ・ホワイト’ ペンタス‘グラフィティ・ラベンダー’	パンジー‘よく咲くスマイル レモネード’ パンジー‘よく咲くスマイル マーマレード’
カスケード前	ベゴニア‘F1 トップハット ホワイト’ ベゴニア‘F1 トップハット スカーレット’ トレニア‘カタリーナ ブルーリバー’	ペンタス‘グラフィティ・ホワイト’ クロサンドラ‘トロピック・フレーム’ イボメア ライム系	アルテルナンテラ‘パープルプリンス’ ジュニア‘プロフェュージョン ダブルホワイト’ ジュニア‘プロフェュージョン ダブルゴールデン’ ヒニークラ‘ドルチェ・シルバークラウン’	よく咲くスマイル‘ミルクセーキ’ よく咲くスマイル‘ソーダ’ よく咲くスマイル‘ライチ’
カスケード池下	ニューギニアインパチェンス‘F1 フロリフィック’	コリウス‘ゴリラ・ジュニア・グリーンハロー’ コリウス‘ゴリラ・ジュニア・ガーネット’	コリウス‘ゴリラ・ジュニア・グリーンハロー’ コリウス‘ゴリラ・ジュニア・ガーネット’	パンジー‘よく咲くスマイル バイナッブル’ パンジー‘よく咲くスマイル マーマレード’ パンジー‘よく咲くスマイル ミルクセーキ’ シロタエギク
大温室横	ベゴニア‘ビッグ’ 緑葉ローズ ベゴニア‘ビッグ’ 銅葉レッド	アンゲロニア‘セレナ ホワイト’ アンゲロニア‘セレナ パープル’	アンゲロニア‘セレナ ホワイト’ アンゲロニア‘セレナ パープル’	アリッサム‘クリアカリスタ’ ハボタン‘F1改良紅はど’（2月にアイスランドポピー）
イベント広場北	ランタナ‘スーパーランタナ・レインボーオレンジ’ ランタナ‘スーパーランタナ・ムーンホワイト’ ランタナ‘スーパーランタナ・サニーイエロー’	ランタナ‘スーパーランタナ・レインボーオレンジ’ ランタナ‘スーパーランタナ・ムーンホワイト’ ランタナ‘スーパーランタナ・サニーイエロー’	ランタナ‘スーパーランタナ・レインボーオレンジ’ ランタナ‘スーパーランタナ・ムーンホワイト’ ランタナ‘スーパーランタナ・サニーイエロー’	プリムラ‘ガーデンプリムラアラカルトシュシュ’ 黄 プリムラ‘ガーデンプリムラアラカルトシュシュ’ 桃 プリムラ‘ガーデンプリムラアラカルトシュシュ’ 桃
食堂前送路	ネモフィラ‘インシグニスブルー’ （5月中旬まで）	ヒマワリ‘サンフィニティ’	コスモス‘センセーション’	